# 女性の健康上の特性への配慮に関する基本方針

西京銀行は、「女性が働きがいのある銀行日本一」を目指し、女性の活躍を重要な経営課題の一つと位置づけ、女性がさまざまな業務や役割に挑戦し、自らのキャリアを形成できる環境づくりに取組んでいます。

これまで、意思決定層である、管理職や取締役は男性中心に構成されており、意思決定の場への女性の参画が課題とされています。中長期的な女性の活躍と安定的な管理職の輩出に向けた基盤を整えつつ、管理職の占める割合を中期的には 25%以上を継続し、将来的には 50%を目標とします。そのため、仕事と家庭の両立に向けて環境づくりに取組んでいます。

また、入行後 10 年前後の継続雇用割合（2026 年 3 月末時点）は、男性 50.7%に対し女性 31.0%となっており、女性が長期的に働き続け、キャリアを形成していくための環境整備も課題の一つです。

こうした中、女性には、月経、妊娠・出産、更年期等、ライフステージに応じた健康上の特性があり、これらに伴う健康課題が、働き方やキャリア形成に影響を及ぼす場合があります。

当行は、女性が健康上の事情によって働き続けることやキャリア形成を諦めることなく、一人ひとりが持てる能力を最大限に発揮できる環境を整えることが、女性活躍のさらなる推進につながり、そして地域のお客さまへのより良いサービスや地域社会への貢献につながるものと考えています。

この考えのもと、女性の健康支援を経営上の重要な課題の一つと位置づけ、以下の取組みを推進します。

1. 女性の健康上の特性への理解促進
   女性の健康上の特性や健康課題について、研修・啓発等を通じて、性別を問わず理解を深め、職場全体のヘルスリテラシーの向上に取組みます。

2. 安心して働き続けられる環境づくり
   女性の健康上の特性に配慮した休暇制度や柔軟な働き方等を整備し、必要なときに安心して利用できる職場環境づくりに取組みます。

3. 安心して相談できる体制づくり
   担当者を選任するとともに、窓口を行内に周知し、女性の健康上の特性に関する悩みや不安について、安心して相談し、必要な支援につながることができる体制づくりに取組みます。

4. 能力発揮とキャリア形成への支援

女性の健康支援は、健康上の課題への対応にとどまらず、一人ひとりが持てる能力を最大限に発揮し、自らのキャリアに向き合い、挑戦・成長し続けるための取組みです。一人ひとりがその趣旨を理解し、それぞれの状況や意向を尊重した職場づくりを進めます。

5. プライバシーの保護とハラスメントの防止

制度の利用や健康課題に関する相談にあたっては、本人の意思を尊重し、プライバシーの保護を徹底します。また、女性の健康上の特性や制度の利用等を理由とした不利益な取扱いやハラスメントを防止します。

当行は、女性の健康支援を通じて、当行で働くすべての人が安心して働き、それぞれの能力を最大限に発揮できる職場づくりを進め、成長と活躍を地域のお客さまへの価値提供、そして地域社会の持続的な発展につなげてまいります。

以　上